（昭和五年三月卅一日 第三種郵便物認可）（日刊）昭和七年九月十一日　新いわき　（日曜日）第七百卅三號　（一）

九月十日　夕刊

新いわき

休日　日曜　祭日
一ケ月　廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四〇錢
場所指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平町大町五　新いわき新聞社

多議の投票愈よ今日 結果は明日の十一時

誰が落選の憂目を見るやら 濱の金成氏は當選か

多議の候補者石城の金成通（政）郡山の根本祐太郎（政）福島の油井德藏（民）三氏が勝を爭ふ選擧投票は今十日愈よ本會の福島縣廳外第一分會の郡山、第二分會の若松、第三分會の平町、（第三小學校）共に午前九時から午後三時を限り行はれた平町分會は開場イの一番に或は病氣棄權でないか疑はれた相馬郡吉田清兵衛氏の投票を皮切りに正午迄に二十六票の中候補者の金成氏と原町の佐藤信成氏を殘すのみで閉場定刻までに一名の棄權なく全部投票を終つた今次の選擧戰は極めて際どい接戰で何れに優劣を豫斷困難であるが濱通の結束に二十票の獲得を確實とし會津及び縣南並に中部方面にも利戰を傳へられてゐる金成氏を安全と見るもの多く果して豫測の通りであるかどうか明十一日の開票で午前十一時頃迄に判明する結果を興味視されてゐる、

銀行方面から見ても 財界は漸次好轉する

信用を深めて來た豫金の傾向 金廻りは確かに良くなる

財界の現狀は一上一下頻繁な動搖であるが大勢から見て漸次好轉の傾向だと唱ひられてゐる果して此の現はれが先き行き順調に向き直るであらうかどうか不況に疲れ切る一般が多種多樣な想像を馳せてゐるが右に就て平町某財通の語るところによれば、

財況は矢張り財界の心臟である銀行で見るのがよからう現在の所では金の動きが格段に目立つて來たとは云へぬが從來不動産に對する資金の融通は査定が嚴重な上に利子も高く普通銀行では豫金で賄ひ得るだけを限りとして借らうとしなかつた從つて此の金融策は全然不結果に終つたが政府が銀行の個定貸を三ケ年間に五億圓を支出し一億圓を補償して呉れる事になつた併も利子は六分二厘で時價まで貸すと云ふのだから肩替りもさせて來やうし流動がよくなり不良銀行でなければ之れで充分浮び上れる譯だ尚ほ郵便貯金利子を三分に下げたことなども銀行に對する信用を深める原因となつて漸次豫金の上に現はれて來た模樣である此の傾向は地方財況と密接な關係を有するもので各個人の負債整理にも非常な援けとなるものであるから不動産の資金化、個定貸の流動化が來るので金融が圓滑になることは云ふ迄もない斯樣な譯で財界は漸次するであらう

今晩少雨はあるが 明二百廿日は無事

明朝は一時晴れるであらう 荒天にはならぬ模樣

農作物殊に稻にとつて第二の大脅威である明十一日の二百十日を控いて二、三日來の天候が不定な爲め或は荒れはせぬかと氣遣はれてゐるが小名濱測候所の觀る所では左記の如く無事の模樣であると、

不連線が北海道から關東及び土佐沖に亘り現在また（十日午前十一時）四國から佐渡に異動してゐるが如き甚だ明瞭でないが今晩は少雨を見て漸次不連が大平洋に落着くであらう目下のところ海州溫度が高く陸溫との差が多い斯う云ふ場合には雨の多いのが常で明朝は一時晴れそうである然し長く續くかどうかは判らぬ此の地方としては大した荒天はなく無事であらうと

麥類の大暴騰

今十日から一割余上る

稻作の大豊況で米價益々下落の徴を示してゐる昨今麥が俄かの高騰で平町の米穀商組合では今十日前日までの搗麥一キロ七錢を八錢五厘に半麥十一錢を十二錢に値上げした原因は詳細でないが某方面の大量買上げから石城地方への供給地である茨城が名古屋移送の急增に影響されたらしく尚ほ向後ます〳〵高騰するものと見込まれてゐる

平自動車業の總會 今日平署内に開催

ガソリンの共同購入に一途か 乘合賃銀は絶對上げぬ

縣自動車協會の平支部に於てガソリン値上による對策協議の爲め總會を開催することは昨報したが同會は今十日午後三時から平署會議室に開かれた同會の出席は七十余名で右に關する方途を研究の末此の際如何にしても乘合貸金を値上げすることは大衆に忠實な所似でないとの意見が多くガソリンの共同購入に一途するか或は貸切及びトラックの合同經營が良善の策でないかと唱ひられた大部分其の意向の模樣であつた尚ほ同會の決議は來る十三日福島に代議員會に持ち寄り更に十四日中英の本部會議に諮る筈であると。

四倉市場 繭市況

糸況の軟調で若干下値向き

四倉繭市場に於ける昨九日の取引は白繭百二十五貫の出荷で最高四十三圓四十錢最低二十九圓五十錢、平均三十八圓八十錢、一二日來の糸況が若干下押の爲めか前日までの高歩調に比すれば數圓方の急落を告げたが同地方初秋蠶は愈よ終りで當日迄に於ける同市場取引の白繭は一萬二千五百二貫六百三十匁價格五萬二千九百五十二圓三錢、黄繭は四百七十五貫七百五十匁、この價格一千九百四十九圓二十一錢の異計に達した

坑夫落磐死

石城郡内郷村の磐城炭礦高坂坑々夫目黒一郎（三〇）は今十日午前七時頃同坑内に於て作業中落磐の爲め即死したので平署の撿視を受けた

トラック電柱を折る

平町野崎自動車業方の運轉手佐藤一雄（二二）は昨九日午後九時半頃トラックに鮮魚を積んで東京方面に向け疾走中石城郡内郷村小島地内國道に於てハンドルを誤り路傍の電柱に激突折損したが人畜には死傷なかつた

俳句

燈下雅談

（一）求恩樓

◎青燈ようやく親しむべきの候となり

さる簑の秋の部あけて讀む夜か那　子規

で（此句は解する迄もなく猿簑とは芭蕉が元祿四年門弟の去來凡兆に命じて編輯せしめた俳句及び連句の集冊で此他の句集冬の日、あら野、ひさご、炭俵、猿簑の六句集と併せて芭蕉七部集と呼ばれる中でも最も優れた一體で世之を花實具はれる集であると尊重して居ります）其集冊の秋の部をあけて讀む燈火可親の時であると云ふのであります。此の好季節に際して靜かに勉强しやうとして居る處へ風雅の友両三人訪れ來てさま〳〵の昔語りに興じた折の二つ三つ耳に殘れることどもを書つけて見ました。

◎蕉風俳諧勃興以前隆盛を極めた談林派の前に出て、天下を風靡した貞門俳諧の大宗匠花の本貞德其門弟達が未だ其道の修業も積まないのに徒らに高點を得ようとして苦心するのを笑つて

三味線の糸より細き俳諧に點とろ〳〵と云ふぞをかしき

と狂歌を以ていましめました

最近の新開雜誌から（四）

大森勇

十一、二年前のことゝ覺ひてゐるが、尾崎さんが世界漫遊を終へてアメリカからの歸途船上から無電で故國に呼びかけて、遙かに日本を眺めて幕末の感があると云はれた、當時戰爭景氣は既に下り坂にはふつてゐたが、どこの工場の煙突も盛んに煙をはいて居たし津々浦々の旗亭には三絃と太鼓の音が賑かであつたので幕末の感じのしたのは尾崎さん外數へる程の小數に過ぎなかつた、處が不景氣が年と共に深刻になり、玄關と臺所の障子を目張りしても目張りしても赤字風が吹き込んで來て肉を舐られ骨をけづられる樣になり、また陸海軍が白晝總理大臣を官邸で慘殺したりするので新聞雜誌に幔末の感と云ふ字はよく出る樣なつた、八月十日の東日に、田中光顯翁悲壯の決意と云ふ大きな見出しで田中翁慨世の言がのつてる、わしの若い頃には（幕末）限りなく波瀾があつたがその頃は前途に明るさがあつたこの頃は内憂外患の多いことは維新時代に劣らぬがその頃の力强さはまるでない云々、田中翁にも幕末の感があるらしい。處でアメリカも日本に劣らぬ不景氣の颱風にまき込まれてダラーに錆が一杯吹き出してるのたが、彼等は何末の感を抱いてるのだらう九月一日發行のエコノヨストによれば彼等はローマ帝國沒落期の感があるのだ相だ

農業方面

紫雲英と菜種

原種配付

(五)縣の奨勵品種

品種和種一號落花終六月六日、洋種一號六月六日、同二號六月十三日△開花期間和種一號四月十七日洋種一號四月十二日、同二號四月十八日△成熟期和種一號六月二十二日洋種一號六月二十九日同二號六月三十日△結實期間和種一號六月十三日洋種一號六月十四日、同二號六月十五日△凍害和種一號無、洋種一號少同二號無△倒伏和種一號中、洋種一號無、同二號無△病害和種一號少、洋種一號無、同二號無（以上成育概察）

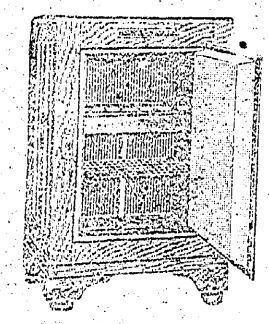
次に成績調査に於ては、品種和種一號草丈一〇一糎、洋種一號一〇五、同二號一〇五△穗長和種一號四三、洋種一號四〇、同二號四四△第一次分枝數和種一號一九本、洋種一號一七本、同二號一八本△總分枝數和種一號七九本、同二號一〇三本△一穗莢數和種一號三六、莢同一號三四莢、同二號三四莢△莢着密度和種一號五二糎、洋種一號六四糎、同二號七四、糎△莢長和種一號五、二糎、洋種一號五、八糎、同二號五、三糎。

内外科◦小兒科◦梅毒◦淋病
平町 市原醫院 田町
（電話一一四番）

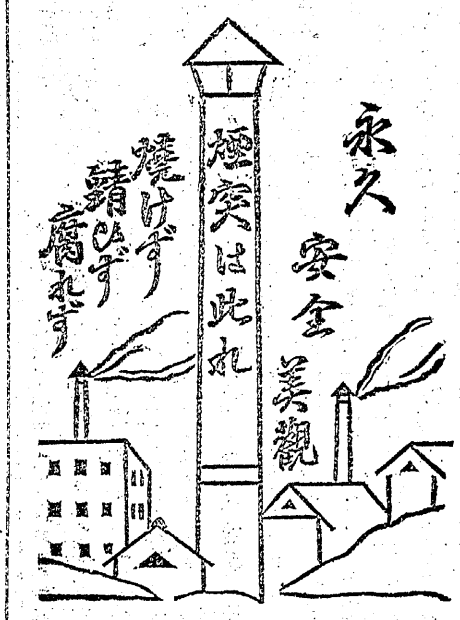
スペイン G.H.N 元詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
1◦10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(三電) 西村屋藥舗 (二本)

カクニン石鹸
生命と信用を賭して精選せる純良の
質と……最後の一片が消え去る迄
優雅な香が續く……
お化粧用 一ケ 十錢 壹打一圓二十錢
洗濯用 一ケ 十錢 壹打一圓
つるや
平町四◦電四百四十

お醤油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
醸造場 福島縣平町字本町 電話(營業部)一一七〇番 (本店)二番
山崎與三郎
代理店

式の冷藏器

製造元丸ほん

入院應需
内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町
(電二五八番)

東京石綿煙突


取付の御用命は第一の電563へ
大谷建材商店
平紺屋町

破格の勉強で歡迎される
靜岡本場小笠銘茶大角園特約
半谷商店
平大町若松病院隣

看護婦の求めに應じます
看護婦會
平
電話三〇七番

移轉のお知らせ
從來の館で手狹であり尚ほ新館建築の計畫もありますので左記に移轉いたしました。
美術引伸
人像專門 齊藤寫眞館
元公會堂池の端
平町字大町五
電話(呼六三七)

アンゲイア
幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ
肺、肋膜、肺炎カタル等
定價(二圓、四圓、六圓)
平五丁町自角
特約店 由野邊藥局

服んで良く効く
(絶對に胃腸を害しませぬ)
淋病と消渇の
特効藥 清淋
本舖 責任製劑 水野藥局
平町一丁目 振替貯金口座仙一八一八七六

◈室の裝飾と盆栽の配置
◈數ケ所に備付ける旋風器
◈夏を知らぬ食堂の涼しさ
そしてほがらかな女給のサービス
平驛前 (電六二〇) カフエータヒラ
◇冷たいおビール・ソーダ水
◇特製アイスクリーム

債券、公債、兩替、金融
多田井貿店
平町大工町
電話五九一番

夏！サロンの裝ひ
店内清楚にして氣持よく
アイスクリーム (十五錢)
タンク入りソーダ水(十五錢)
どうぞ御用命を……
田町 サロン
電話三五二番
(男給見習數名募集)

内科、小兒科、平町田町、電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科 高久病院
レントゲン科 院長 醫學士 高久忠